



毎月十五日発行 所
宗像大社 社会
宗像
〒811-3505 福岡県宗像郡玄海町
電話 0940-62-1311代
http://www.munakata-taisha.or.jp/
定価 一年送料共 1000円

第四十一回 「若布献上の儀」



三月十三日太田宮司、漁協関係者が宮中へ参内し、天皇・皇后両陛下、皇太子・同妃両殿下、賢所、三笠宮殿下へ、早春の女界離産「若布」を献上した。「若布献上の儀」は昭和三十八年、宗像郡内六漁業協同組合(大島・鐘崎・神湊・地ノ島・津屋崎・福岡)の組合員で組織された「宗像大社海洋神事奉賛会」(会長 川村繁美地ノ島漁業協同組合長)設立の際に始められ、今回で四十一回目を迎えた。

奉納された若布の形を整え、規定の量ずつ袋詰めし、その中から厳選、献上品として奉製した。今年の若布は緑が濃く、作業をしていくと織の香りがし、順調に生育したようである。献上前日の十二日、献上者達が上京する前に、福岡空港で多くの乗客が興味深そうに見守る中、当大社巫女から若布を運んでいただく全日本空輸株式会社客室乗務員への手渡しが行われ、白布に包まれた若布入りの木箱が、客室乗務員によって機内へ運ばれた。搭乗時刻には、巫女から同便で上京する乗客全員に、献上する若布と同じミニ若布とお守りが手渡され、風刺刺す玄界灘で二月後半から採取、一旦地ノ島に集められ、「板干し」という、採取した若布を板に貼り付け天日で干す、古来からの加工法で奉製されたもので、各漁協より五キロづつ合計三十キログラムが当大社に奉納された。

秋の「みあれ祭」と並び、同会の一大行事である。若布は同会員が、寒風刺す玄界灘で二月後半から採取、一旦地ノ島に集められ、「板干し」という、採取した若布を板に貼り付け天日で干す、古来からの加工法で奉製されたもので、各漁協より五キロづつ合計三十キログラムが当大社に奉納された。三月十三日に献上日を決めた。神職、巫女が職の案内で、井関掌典に太田宮司が若布献上で参内の旨を言上、同掌典長を通じて天皇・皇后両陛下に献上し上げた。続いて、宮内庁湯浅長官へ挨拶の伺い、太田宮司が記帳の後、宮中三殿参拝の榮に浴し、宮中での献上の儀を滞りなく終えた。宮中を辞した献上一行は東宮へ向かい、嶋崎東宮侍従を通じて皇太子・同妃両殿下へ献上。更に昭和四十四年十月に宗像三宮を御巡拝特に沖ノ島にも渡島され、沖津宮参拝と当時行われていた「第二次学術調査」を御視察された三笠宮殿下へ、坂内庁松田典典

神具・装束 株式会社 井筒
結婚式場用品 会社
福岡店 福岡市博多区東公園二二二-1 電話 0940-921111
本店 福岡市博多区東公園二二二-1 電話 0940-921111
京都支店 京都市下京区油小路東三条北入 電話 075-3433333
電話 京都 075-3433333

木組の家 匠の技
総合建設業 株式会社 弘江組
事務所 福岡県宗像市大字福元 電話 0940-33567
電話 0940-33567

最後の大宮司(第八十代) 宗像氏貞公墓前祭

倉三笠宮付宮務官を通じて、昨年引き続き献上し上げた。ここに宗像大社並びに海洋神事奉賛会の春の重儀「若布献上の儀」は無事終了した。これから神郡宗像にも春が足早に近づいてくる。

本年の若布献上者は左記の通り。
宗像大社 宮司 太田 可愛 権禰宜 中原 裕生 津屋崎漁業協同組合 幹事 上妻 良美 福岡漁業協同組合 参事 田畑 政義

御礼
本年の若布献上に際し、格別の御協賛・御協力を賜りました出光興産株式会社、全日本空輸株式会社をはじめ関係各位に、紙面をもちまして厚く御礼申し上げます。

したことを機に、宮中三殿参拝の榮に浴し、宮中での献上の儀を滞りなく終えた。宮中を辞した献上一行は東宮へ向かい、嶋崎東宮侍従を通じて皇太子・同妃両殿下へ献上。更に昭和四十四年十月に宗像三宮を御巡拝特に沖ノ島にも渡島され、沖津宮参拝と当時行われていた「第二次学術調査」を御視察された三笠宮殿下へ、坂内庁松田典典

宗像大宮司家最後の命日にあたる三月四日、玄海町上八の墓所で、墓前祭(今回は仏式の追悼供養法会)が執り行われた。この氏貞公墓前祭は、平成五年十一月老朽化が進んでいた氏貞公の墓石を保護する為、宇堂並びに顕彰碑を建立

宗像大社 春まつりの御案内

春の大祭を左記行事日程で斎行致しますので、皆様方お誘いの上、御参拝下さいませよう御案内申し上げます。

三月三十一日(月)
午後五時 総社地主祭
午後六時 宵宮祭

四月一日(火)
午前十一時 大祭 (氏子奉幣・主基地方風俗舞・浦安舞)

二日(水)
午前十一時 総社祭 (献上若布採取者表彰)
交通安全講話
交通安全講話
宗像護国神社祭
高宮祭
第二宮・第三宮祭
献茶祭 (南坊流小方社中)

午後二時 神賑行事

三月三十日(日) 四月十三日(日)
「櫛の葉会」油彩画作品展 (祈願殿二階ロビー)

四月五日(土) 午前九時
吟詠大会(鶴洲吟詠会)

周防国黒川(現在の山口市)で生を受けた氏貞公は、胸形君をはじめ大和朝廷・皇室との所縁も深い、九州随一の名門である宗像家に、幼少の頃養子に迎えられた。

宗像家の権力争いに巻き込まれながらも、室町時代末期に第八十代大宮司となり、大宮司職(神職)と大名家(軍事・行政)を兼ねながら、神郡を守り抜いた。

当時、豊後大友の勢と敵対し、攻防戦に引きの最中にあつたため、その死は三年間秘密にされ、遺骸を竹籠に納め夜中密かに家臣の「占密右衛門」(承福寺玄海町上八)に運び、現在お塔の立つ地に埋葬したという。(ちなみに占密一族代々の奥津城は、同じ高台に守るようになつて居るが、天正十三年(一五六四)四十二歳の若さでこの世を去った。

宗像氏貞公

宗像家の権力争いに巻き込まれながらも、室町時代末期に第八十代大宮司となり、大宮司職(神職)と大名家(軍事・行政)を兼ねながら、神郡を守り抜いた。

先日カンボジアを訪問する機会を得る事ができた。カンボジアはボルボト政権が鎮圧されてから一九九七年より国内の復興が始まりだし、また六年程しか経過していない。しかし日本を始め世界各国の支援により目覚しく復興を遂げている最中である。世界遺産であるアンコールワットには毎日多くの観光客が世界各国より訪れて賑わいを見せている。

しかし、復興を行なう事に対しては、この観光資源に頼るところが多大である印象を受けた。遺跡群の調査修復を行なっている上智大学の研究所を訪問したときに聞いた話によると、ボルボトによりカンボジアの先生、職人などの知識人はことごとく殺害された。遺跡群の修復を手掛けるようになって現地の石職人の生存し確認出来なかつたそうである。上智大学では単なる修復だけでなく、現地の人々が将来自立して復興できるように指導も行なっているとの事であった。

確かに戦争終結直後には食料・医療等も含めての経済援助が必要である。しかし、今後この国の将来を考へるに当っては、経済的にも精神的にも自立できる体制を創っていくことの出来る人材育成等が今後必要の援助であることを痛感させられた。(M・A)



沖津宮現地大祭の御案内

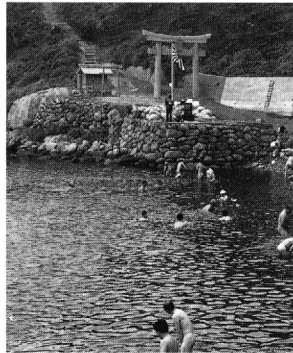
本年も来る五月二十七日(火)、宗像大社沖津宮で、日本海海戦日を記念して国家の安泰を祈る、沖津宮現地大祭を斎行致します。一般の方が沖ノ島に渡島出来る、年に一度の日になりますので、参拝御希望の方は御申し込み下さいませよう御案内致します。



沖津宮本殿での祭典

沖津宮現地大祭要項

- 一、参拝者は沖津宮奉賛会費として一名に付き、一〇、〇〇〇円お納め頂きます。
 - 二、参拝御希望の方は、当大社作成の「参拝申し込み書」を当大社社務所から取り寄せ、五月十日迄(必着)に、御返送下さい。
 - 三、沖ノ島渡島前日の五月二十六日(月)午後六時迄に沖津宮(筑前大島)に到着し、受付を済ませ、渡島安全祈願祭に御参列していただきます。(祭典後、各班ごとに説明会)
 - 四、五月二十七日(火)午前六時に大島港を出港。沖ノ島到着後、直ちに海水で禊をして頂きます。
- 祭典は午前十時の予定です。
午後一時、沖ノ島を出港し、大島着島は午後四時の予定です。
五、大島・神湊間のフェリー最終便は午後六時です。
六、海上模様等で沖ノ島渡島が中止になった場合は、大島の沖津宮遥拝所で祭典を斎行致します。



海中で禊をする参列者

沖津宮参拝心得

- 一、遊山・魚釣等を目的とし、釣具類を持参しての乗船は固く禁止します。もし違反があれば乗船を、お断り致します。
 - 二、沖ノ島上陸の際は、古例により海水で禊をし、身を清める事。
 - 三、御神水以外は、一木一草一石たりとも持ち帰る事を禁止します。
- 又、厳重なる掟がある為、婦女子の参拝は固くお断り致します。
- ※大島の宿泊につきましては、当大社ではお世話しかねます。参考要項に同封の、大島の旅館・民宿のパンフレットを御参照の上、各自で直接予約願います。
- ※申込書・参拝心得・参拝要項等を用意しておりますので、返信用切手を同封の上、左記宛までお申し込み下さい。
- 申し込み先
〒八二一三五〇五
福岡県宗像市田島三三三
宗像大社社務所祭儀部 沖津宮現地大祭係宛
電話 (〇九四〇)六二一三二一代表
FAX (〇九四〇)六二一三二五

七、乗船者に制限がありますので、定員を超える場合には御遠慮願います。
八、年令七十才以上の方は、関係筋の通達により御遠慮願います。尚、長時間の乗船に耐えられない方や、健康状態が良好でない方も御遠慮願います。
九、申し込み者には、受付後参加の可否を葉書で御通知申し上げます。

決断力 その時昭和の経営者たちは

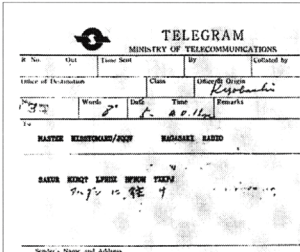
出光興産株式会社 出光 佐三 店主

「イラン石油を輸入」①

瀧口凡夫

国際資本の重囲を破って
マラッカ海峡を抜けた日章丸(二世)は、一八七四年重丸(一)は、インド洋をひたすら西へ航海していた。佐三に見送られて神戸を出港したのは、桜がにおう一九五三年(昭和二十八年)三月二十三日であった。
四月五日、インド亜大陸の先端コロンボ沖にさしかかったとき、東京の出光本社から暗号電報が入った。電文は「航路変更、貴船はイラン石油積み取りのためアバダン港に向かわれたし」とあった。受け取った新田辰男船長は「来たな」とうなずき、あたりに全員に集合を命じた。

「本船はこれから、イラン石油積み取りのためアバダンに向か」と告げると、乗組員たちに驚きと緊張が走った。船長と機関長以外は本場の目的を知らされず、サウジアラビアのラスタマラに行く、と信じていたからである。船長は神戸を出港するとき佐三から渡された紙袋の封を切り、ガリ版刷りを取り出して全員に配った。佐三が書いた「イラン石油輸入第一次日章丸乗組員に与う」である。趣旨は「出光は日本の石油国策の確立を目



日章丸のアバダン行きを指示した暗号電報

標として猛進してきた。しかし消費資本のわが社の主張は、他社の反対にあい悪戦苦闘の窮地にある。「日章丸はこの重囲を脱するため、尊い武器として与えられた」「行く手には困難がある。(しかし)これをやりとげてください」わが国は世界の石油大資源と直結し、石油国策の基礎を固めることが出来る」というものであった。

第二次世界大戦後の民族主義の高まりを受け、五一年イランにクーデターが起こり、モハメッド・モサデグが政権を握った。あつという間に石油事業を国有化し、アバダンを製油所として受け取った。アンクル・イラニアンは、セブン・シスターズ(七姉妹)といわれた国際石油資本の有力メンバーである。国際石油カルテル各社は結束してイラン国営石油への包囲網を固め買入れを中止した。イランは製油所にあふれるほどの貯蔵石油が売れず、国家財政も窮乏した。日章丸は四月十日、世界最大の製油所を控えるアバダン港に着いた。

二ユースはテヘラン発のUP、ロイター電を駆けめぐった。日章丸は四月十日、世界最大の製油所を控えるアバダン港に着いた。二ユースはテヘラン発のUP、ロイター電を駆けめぐった。

全文を紹介する余裕はないが、これも格調の高いなかなかの文章である。大声で読みあげた船長は「われわれの目的と使命は、この激励文にあるとおりである。これ以上、私からつけ加えるものはない」と締めくくり、使命の達成に全力をあげるように指示した。

静まり返ったキャビンに、だからともなく「日章丸万歳」の声があがり、続いて「出光興産万歳」「日本万歳」の連呼となった。中東石油の歴史の中

田野 森 甲子 久ひさに母の摘果手 伝ひぬ早や二番果の赤く色つき
(評) 久しぶりの労働と母を通しての季節を実感した喜びが、三句切れの「手伝ひぬ」を受け結句に「色つき」と連用形にした手法により広がりを持たせている。

池田 小田 イセ 成人と認められたる 若きよ今日の喜び未来を背負へ
(評) 小田作品は若者たちに、佐々木作品は己に対しそれぞれ励しと覚悟を明快に陳べている。調べに勢いがあるのも内容にふさわしい。

光岡 白土 凌一 機窓より冬の富士山 見下るせば旅の楽しさ いや増してくる
(評) めったに全容をみせぬ冬の富士を機上から見た喜びが率直に詠われている。

福間 中村 勇 暗がりに蠟を点せば 大師像燦けたれども類 笑みてをる
(評) ハウステンボスでも経営破綻する時代である。うどうん屋なんか、と言ってますが、そこにはそれまでだが、そこに安らぎを覚えた庶民が居ることを忘れないで欲しい。そんなこと迄思わせる作品である。

池田 森 龍子 餌台の輪切りの蜜柑 皮のみとなりて粉雪降り積りゆく
(評) 蜜柑を食べるのは鴨か目白か、いづれにしても三句以下の描き出しによって小鳥たちに寄せる作者のやさしい心が見える。

曲 天野 玲子 母と共かつて遊びし 商店街のうどん食べた 店消えてをり
(評) ハウステンボスでも経営破綻する時代である。うどうん屋なんか、と言ってますが、そこにはそれまでだが、そこに安らぎを覚えた庶民が居ることを忘れないで欲しい。そんなこと迄思わせる作品である。

吉留 高山 信子 白髪散ることを娘に さとされて早春の庭に いでて髪とく
福間 香月 照子 早春の背のころを ひっそりととらへるし だれ梅のしろ花
日の里 大和美由紀 北側に窓新しく出来 上がり畑の景色一望に 見ゆ
神湊 中山 千鶴 手をひかれ背を押さ れて登る山仰ぎ見る 峯はるかに遠し

第五〇〇回 宗像大社歌会詠草

大野 展夫 選 毎月 25 日 べ 切

宗像大社歌会
俳句作品集(四七五)

福岡 森 清
子らの声校庭ゆがむ
程の春

光岡 白土 凌一
友近きに來たり來た
りて梅見酒

光岡 井上 嘉治
鐘鳴りてスタンド硝
子に春浅し

東郷 田中 憲象
玄海に湧く雲結めて
吹雪けり

日の里 花田いつ枝
亀鳴けりどごぞと問
へり覗きけり

東郷 吉武 湧泉
産院の産声高し初日
影

東郷 吉田 杏子
新年を飾る羊の縫い
ぐるみ

東郷 三浦美千代
右左雪の踊り子舞ふ
を見る

東郷 田中 雨葉
獅子舞の振り向く時
の大口

東郷 木原 房子
風紋の丘に靡々たり
初雪は



(続) 浜の寄物

いしい ただし

久しぶりに山口県豊浦郡豊北町を漂着物学会会員の村上隆氏と訪ねた。この日は天候不順な二月にしては快晴だったし、風もない、ポカポカ陽気だった。「今年になって一番いい日です」と皆が口をそろえて言っていた。

川棚温泉入口近くの島山工芸館の展示を見たが、いつ来ても、あらゆる分野にまたがるコレクションには脱帽する。そこを見て土井ケ浜人類学ミュージアムへ。平日のため見学者は私達以外にはなくひっそり静まっていた。この一、二日はシーズンオフで、この資料館は来館者はすくない。弥生シアターで3D立体映像を見、貝輪のレブリカで楽しんだ。

この砂丘から三百体の人が骨が発掘され、その一部が土井ケ浜ドームにレブリカの人骨で再現してある。レブリカといえども、ずらりと並んだ人骨は薄気味悪い。この人骨群のメインは鶴抱く女と、十

話題の新車紹介 (31)

トヨタ「ウィッシュ」

「五ナンバーサイズ七人乗り」の車が今売られています。トヨタは三ナンバー化した現行のウィッシュに、欠番状態だったこのクラスの他メーカーの代表車「ホンダ・ストリーム」や「スズキ・ワゴンR」など、今この車と真向勝負を展開しています。



①デザイン
メタルカブセルをデザインテーマに、ひと目では三列シートに見えない個性的なスポーティーさを意識しています。



北朝鮮船が座礁している。土井ケ浜に角島

四本の矢を受けた英雄の人骨である。三百体の人骨のどれか、六〇〇の暗い眼窩は、遙か彼方の広大な大陸を見つめているのか、なぜ彼らは顔が大陸に向くような形で埋葬されたのだろうか。松下幸三館長の問いは今もつづいている。まだ墓地だけが確認されていないが、今後は生活の場がどこにあったか、その場所さがしも課題である。土井ケ浜に出てみる

た人骨を二〇〇〇年の間守りつづけたのであろう。土井ケ浜に角島架かった。二つの岬の船で運び去り、座礁船はそのまま放置、どこまで迷惑をかけるのたため島名になった。周囲一七・一メートル。この島の産物はワカメ、平城京出土の木簡も出ている。万葉集にも詠まれている。島には「日本近代エングランドの父」

の悪い場所でも左右の状況が確認出来る。フライドや、バックの車庫入れの際に便利な「バックモニター」(今や画像はカラーです)も付いています。車内のインテリアも豊富で、前席にはインパネボックスが二つ、ETCユニット格納を想定したボックスを運転席に、助手席下のアンダートレイも勿論、買い物フックもあり、考えられる全ての嬉し機能満載です。ドリンクホルダーに至っては全部で九個も準備しています。

②コンセプト
一人でもカブセルでもファミリーでも使える機能を集約した「新スタンダード」を狙います。普段は乗用車と同等の動力性能やハンドリング、燃費をキープしつつ、その気になれば、三列シートで七人乗ってしまう車に仕上がっています。

③快適装備
全車種にオートエアコン、さらにクリーンエアフィルターも標準装備しています。カーナビには、見通し

④サイズ
全長四五五〇、全幅一六九五、全高一五九〇ミリと、五ナンバーサイズに仕上げられ、室内長は二六七〇ミリとクラストップ

⑤エンジン
一八〇〇CCのガソリンエンジンタイプで、駆動方式はFと4WD(通常はFと4WD)を用意しています。Fは二〇一〇年燃費基準を達成。一〇・一五リッター燃費はFがリッター「四、四キロ、4WDが二、八」となっています。

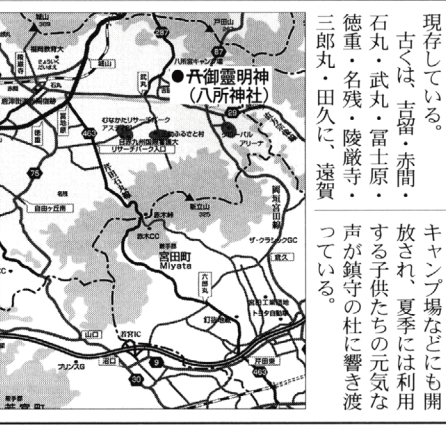
⑥安全性
大切な人に乗せる車。勿論ボディはGOAを採用、ABS・前席左右のエアバックを標準装備しています。オプションですが、サイドエアバック、カーテンエアバックも用意して



お問い合わせ先
トヨタビスタ九州株
宗像店
☎090-371-2666

神郡宗像
末社めぐり

御霊明神 (八所神社)
二十九 御霊明神 (八所神社)
宗像大社から約十二キロ、釣川沿いの東郷橋を左折して、県道八十九号線(旧三号線)を北九州方面に進み、JR教育大前駅近くの西鉄バス赤間営業所から右折して、県道二十九号線に入り、鞍手町との境である猿田峠に向かう手前の宗像市吉留の道路沿いに大きな鳥居が見える。



わたしたし時に松を植栽し、『安康の松』と呼ばれていたが、害虫被害により枯れ、石碑のみが現存している。古くは、吉留・赤間・石丸・武丸・富士原・徳重・名残・陵殿寺・三郎丸・田久に、遠賀郡岡垣町上畑を加えた十一か村の産神であり(現在は吉留・武丸・城南ヶ丘)、桓武天皇の御代、橘逸勢遣唐使の際の航海安全祈願祭や、扁額は天曆年間の小野道風の書、というように往古から大社であったこと。秋季大祭に行われる御神幸が現在でも有名で、古くから「釣川の水が澄むのを待つ」為、夜中に御神幸が行われており、夜十時に花火の台合で供養行列(大名行列)が約一時間半をかけて神幸橋の脇の頓宮(お旅所)まで御神幸、祭典の後再び行列を整え還幸し、午前二時頃終了する。境内周辺には露店が並び、周辺からの参拝者で大いに賑わっている。平成の御造営にて末社にいたるまで、境内は美しく整備されており、御神域は弓道場、キャンプ場などにも開放され、夏季には利用する子供たちの元気な声が鎮守の社に響き渡っている。